

【シラバスⅡ】 令和8年度 評価規準

教科名 理科		科目名 (学) 理科一般		
時期・単元	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
(4月)	化学基礎 1章 物質の構成 2章 物質と化学結合 3章 物質の変化	<ul style="list-style-type: none"> 物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 化学式を使用できるとともに、原子量、分子量、式量と物質量の知識を身につけている。 燃焼、金属の溶解の利用に興味をもち、それらの共通性を意欲的に探究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 原子は原子核と電子からなっていて、電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを推論できる。 物質の性質は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。 原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物質に関心をもち、物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探究しようとしている。 物質の構造は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを、意欲的に探究しようとする。 代表的な物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探究しようとする。
	生物基礎 1編 生物の特徴 2編 体内環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> 生物の共通性と、同時に多様性があることを理解する。 ATP や酵素の役割、光合成、呼吸の内容を理解する。 DNA の構造と、構造的特徴が遺伝情報を担う物質として機能することでアミノ酸配列を指定しタンパク質が決定することを理解する。 DNA がどのように分配されるか、細胞の分化の遺伝子発現のレベルでの考え方について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 共通性の由来、多様性の由来について説明できる。 ATP、酵素についての役割と生命活動とエネルギーとが説明できる。 共通の分子を遺伝情報としているにも関わらず、多様な情報を保持しているしくみについて説明できる。 セントラルドグマを転写・翻訳の過程を通して表現できる。 体細胞分裂における DNA の複製と分配の周期の意味を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様性と共通性について主体的に取り組み、積極的な発言が見られる。 遺伝情報の転写と翻訳について、図を見ながら意見交換ができる。
	物理基礎 1編 物体の運動とエネルギー 2編 さまざまな物理現象とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 等加速度運動を数式を使って表せる。 運動の加速度、変位、速度、時間を用いて必要なことを求める。 システムの中の物体に働く力ベクトルを表示できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 等加速度運動の $v-t$ グラフと $x-t$ グラフから必要な物理量を求める。グラフから運動の様子を表現できる。 システム中の物体の運動方程式を物体ごとにとたてられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数式を用いて運動の様子を表そうとする。グラフを書こうとする。条件を変えた場合の運動の様子を探索しようとする。 条件を変えた場合にどうなるか探究する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・力学的エネルギーの保存を理解し現象を説明できる。 ・運動の第一法則を理解し現象を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・力学的エネルギーの保存の式を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物体に出入りするエネルギーと仕事の関係を知ろうとする。
(9月)	<p>化学基礎</p> <p>1章 物質の構成</p> <p>2章 物質と化学結合</p> <p>3章 物質の変化</p> <p>のマーク式問題の演習</p> <p>生物基礎</p> <p>2編 体内環境の維持</p> <p>3編 多様性と生態系</p> <p>物理基礎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物質とその変化について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。 ・自律神経、ホルモンなどの作用や分泌機構について理解する。 ・体内環境とその恒常性について理解する。腎臓と肝臓の持つ多様な機能を恒常性の観点から理解する。 ・自然免疫と適応免疫のしくみと関係する細胞の役割を正確に理解する。 ・世界および日本に見られるバイオームが、気温と降水量に起因して成立していることを理解する。 ・生態系において種多様性が維持されるしくみと生態系の保全のために、どのような活動が行われているかを理解する。 ・身の回りの波の現象を波の性質（回折、反射、屈折、干渉、分散、散乱波の合成など）を用いて説明できる。 ・電流、電圧、起電力の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・自律神経系と内分泌系の働き方を比較し、調節機構を説明できる。 ・自然免疫における食作用、適応免疫の仕組みについて、図を用いて説明できる。食細胞の異物の認識の仕方とリンパ球の抗原の認識の仕方を比較して説明できる。 ・遷移の過程で、植生の樹種が交代する要因について考察し、説明できる。 ・地球の気温が上昇すると、バイオームの垂直分布がどのように変化するかを推測することができる。 ・生態系における生物が種多様性に対して果たす役割を説明できる。 ・$y-t$ グラフ $y-x$ から波の様子を知る。また波の様子からグラフを作れる。 ・回路を流れる電流をオームの法則とキルヒホッフの法則を使い計算できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。 ・自律神経と内分泌系によって自身の体内環境が制御されていることに興味・関心を持つ。 ・身近にある免疫の現象について、教科書の記述から導き出そうとする ・植生の分布とバイオームに関心をもち、遷移の仕組みに主体的に学習に取り組める。 ・生物の多様性および生態系のバランスと保全に関心をもち、主体的に学習に取り組める。 ・気柱の共鳴について、条件を変えた場合にどうなるか探究できる。 ・数式を使って説明できる。
(12月)	<p>化学基礎</p> <p>共通テスト予想問題の演習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物質とその変化について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それ 	<ul style="list-style-type: none"> ・物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

	<p>生物基礎 共通テスト予想問題の演習</p> <p>物理基礎 共通テスト予想問題演習</p>	<p>らの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習結果が十分理解できたか。 ・内容が理解できたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・演習内容について考察し説明することができるか。 ・内容を他人に簡潔に説明できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に演習に取り組み、説明できるか。 ・主体的に取り組み多面的に考えることができたか。
主な評価方法		・定期考査、提出物など	定期考査、提出物など	定期考査、出席状況など
その他				